

2023年卒
Vol. 05

3月1日時点の就職活動調査 〈速報〉

キャリアス就活 2023 学生モニター調査結果 (2022年3月発行)

2023年卒の採用広報が3月1日に解禁され、多くの学生が就職活動を本格的にスタートさせた。コロナ禍は続いているものの、企業の採用意欲は回復基調に転じる中で、どのようなスタートを切っただろうか。キャリアス就活・学生モニターを対象に、解禁直後の就職活動状況や意識について調査を行った。

1. 3月1日時点の内定状況

- 内定率は28.6%。前年同期実績(21.1%)を7.5ポイント上回る
- 内定企業の7割強(74.1%)が「インターンシップ※参加企業」。活動終了者は全体の5.5%

2. エントリー状況

- エントリー社数の平均は19.6社。前年同期(23.3社)より3.7社減。今後の予定社数は微増

3. 就職活動解禁を迎えた心境

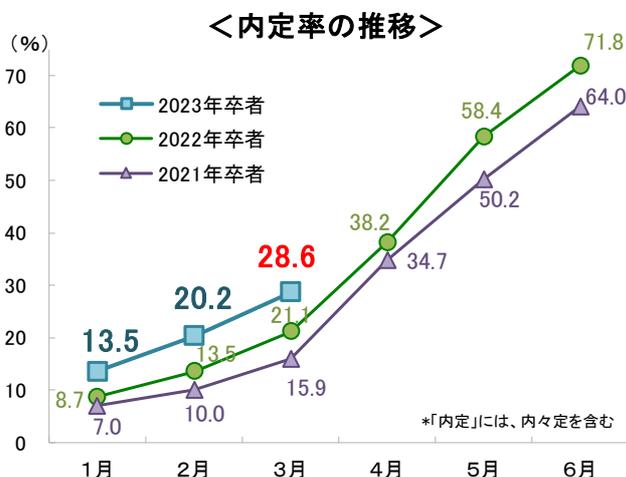
- 「いよいよ本格的に始まった」は半数(53.5%)。「いまさらという感じ」が4割超(41.4%)

※1日以内のプログラムも含めて調査

1. 3月1日時点の内定状況

3月1日以内定を得ている学生は全体の28.6%。前回調査(20.2%、2月調査)からの1カ月間に8.4ポイント上昇し、就活解禁とは言えるものの、すでに3割近くが内定を手に入れている。前年同期実績(21.1%)を7.5ポイント上回っており、現在の日程ルールが7年目を迎える中で、早期化が進行していることがうかがえる。内定企業の7割強(74.1%)がインターンシップに参加した企業。

内定取得学生のうち、就職先を決めて就職活動を終了したのは19.0%で、大半は内定を得ても就職活動を継続していると回答。モニター学生全体を分母にとると就活終了者(就職先決定)は5.5%となり、多くの学生にとって本番はこれからだ。

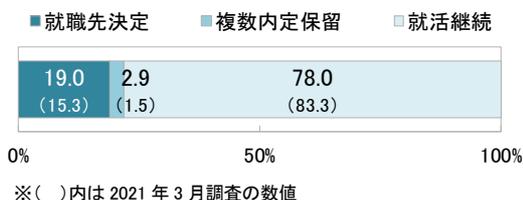


※各月1日時点

<内定を得た企業の内訳>

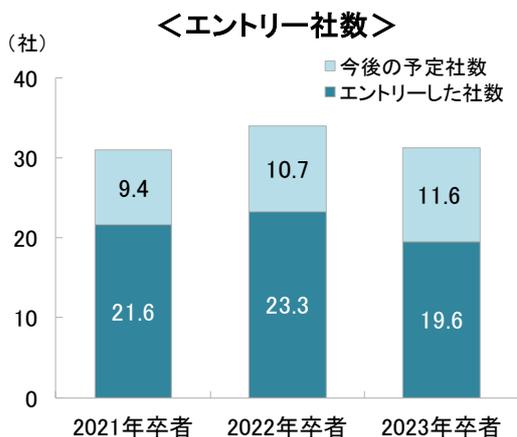


<内定取得者の活動状況>

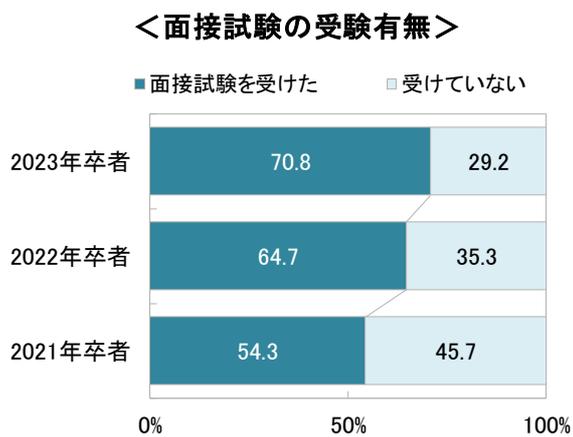


2. エントリー状況

一人あたりのエントリー社数の平均は 19.6 社で、前年同期実績 (23.3 社) を 3.7 社下回った。すでに面接試験を受けたという学生が 7 割を超えるなど (70.8%)、早期化が進行する中で、エントリーする企業を事前に絞り込む傾向が強まった。ただ、今後のエントリー予定社数は平均 11.6 社で、前年調査 (10.7 社) よりやや多い。早い時期に接点を持った企業から良い感触を得られず、視野を広げようという学生も少なくないのだろう。



※各年3月調査

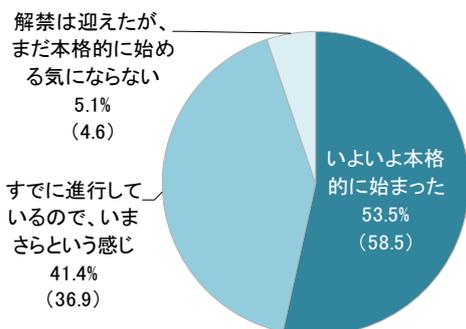


※各年3月調査

3. 就職活動解禁を迎えた心境

3月1日の「解禁日」を迎えた心境を尋ねた。自分の気持ちに近いものを選んでもらうと、「いよいよ本格的に始まった」と回答した人が最も多いものの (53.5%)、前年調査より割合は下がり、その分「いまさらという感じ」が増加し、4割を超えた (41.4%)。前年よりも就職戦線の早期化が進んだことが、このデータからもうかがえる。

＜就職活動解禁を迎えた現在の気持ち＞



■学生の声

- 3/1 になることでそんなに大きくは変わらないと思っていたが、一気に動き出した感じがする。遅れないようについていきたい。 <理系男子>
- 早くも3月になり、不安なこともあるが、頑張って乗り切っていきたい。 <文系男子>
- 3月解禁といっても早期選考が多いので実質スタートはもっと早いと感じている。 <文系男子>
- 早期選考で枠が埋まってしまわないか心配です。 <文系女子>
- ロシアとウクライナのことが就活に響くのではないかと不安。 <文系女子>

調査概要

- 調査対象 : 2023年3月に卒業予定の大学3年生 (理系は大学院修士課程1年生含む)
- 回答者数 : 1,302人 (文系男子438人、文系女子382人、理系男子335人、理系女子147人)
- 調査方法 : インターネット調査法
- 調査期間 : 2022年3月1日~6日
- サンプリング : キャリタス就活2023学生モニター